

赤煉瓦ネットワーク2012敦賀大会が開催されました！

平成24年11月24日(土) 敦賀港内のきらめきみなと館において、地域固有の歴史建造物である「赤レンガ倉庫」を敦賀のまちづくりの拠点とするべく、市民の立場で活用策を検討、協議するため「赤煉瓦ネットワーク2012敦賀大会」が開催されました。

本大会では、冒頭に河瀬敦賀市長が「敦賀の赤レンガは市民の宝物であり、それを末永く残していこうという思いは皆様と同じであり、連携をとって更なる発展につなげていきたい」と挨拶があり、続いて有馬敦賀商工会議所会頭から「交通の要衝として発展してきた敦賀の港の象徴が1905年に建造された赤レンガ倉庫などであり、今年は敦賀にとって歴史的な記念すべき年での開催となった」と挨拶され、最後に池田実行委員長から開会の辞が述べられました。

次に、「赤レンガをとりまく歴史的背景」と題して川村敦賀市博物館長より鉄道と港により発展してきた敦賀についてなどの講演があり、続いて「敦賀ノスタルジアムと赤煉瓦倉庫再生」と題して内村敦賀市金ヶ崎周辺整備構想策定委員会副会長より赤レンガ倉庫の再生として金ヶ崎緑地との融合についてなどの講演が行われました。

その後、市内の経済団体や高校生らがパネリストを務めた討論会が行われ、「倉庫単体でなく周辺の整備が大事」、「観光客だけではなく、市民が訪れたいと思うような空間にすべき」などの提案が出されていました。

<赤煉瓦ネットワークとは>

赤煉瓦でつくられた日本全国の建設・施設の保存・活用を中心に、地域にねざした「個性的なまちづくり」を行う組織、運動体のネットワークを形成し、交流を行うことを目的としている。

設立 1991年10月、会員 28団体（約1100名）



河瀬敦賀市長の挨拶



有馬敦賀商工会議所会頭の挨拶



池田敦賀大会実行委員長の挨拶



基調講演の様子



パネルディスカッションの様子



会場全体の様子